



特別講座

3回
シリーズ

外国ルーツの子どもへの 日本語の教え方

近年、熊本県内の小中高校でも外国にルーツを持つ子どもたちが増えてきました。来日直後
で日本語がわからないまま学校生活を送る子ども、日本生まれでも読み書きにハンディを持つ
子ども・・・今、子どもたちに日本語を教えられる人材やスキルが求められています。

来日の背景、母語、年齢、家庭環境、漢字圏かどうかなど様々な要因を踏まえ、教え方にも
工夫が必要です。2009年より熊本県内13自治体の委託で小中学校へ日本語指導員を派遣して
きた「NPO法人外国から来た子ども支援ネットくもと」と共に、子どもたちが1日も早く笑
顔で過ごせるように、一緒に知恵を出し合いましょう！



●こんな方にオススメ！

小中学校で日本語指導に関わっている先生方
外国ルーツの子どもたちが在籍している学校の先生方
地域日本語教室で子どもたちの日本語支援に関わっている方々
そのほか関心をお持ちの方は、どなたでも是非ご参加下さい。

日程と講座概要

※詳しい内容は裏面を参照ください。
※受け付けはいずれも13:00より行います。

第1回

9月30日(土)
13:30～16:30

初期指導(小学生、中学生)

第2回

11月25日(土)
13:30～16:30

ダブルリミテッドの指導
(教科指導)

第3回

12月9日(土)
13:30～16:30

漢字指導、指導の実例共有、
グループ討議

参加費：各回500円(資料代含む)

会場： 尚絅大学 武蔵ヶ丘キャンパス 3号館 11講義室
(菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2丁目8-1)

準備の関係上、参加される方はできるだけ事前にお申し込みください。

※9月30日(土)10:00～12:00は熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会総会を行います。

講座内容詳細

第1回 9/30

初期指導

来日したばかりで日本語が全くわからない子どもへの日本語指導の方法を学びます。

外国ルーツの子どもたちとは？ 熊本県にどのくらいいるの？
母語を使って教えるの？ 大人と同じ教え方でいいの？

講座1 小学生への教え方…片山良子（当 NPO）

講座2 中学生への教え方…竹村朋子（当 NPO）

主な内容：基本的なカリキュラムの立て方、教材の選び方、カードの使い方
様々な子どもたちへの教え方の工夫、ワークショップ

第2回 11/25

ダブルリミテッドの指導

第2回では、ダブルリミテッド（複数の言語環境で育ち、いずれの言語も年齢相応に習得できていない状態）の子どもたちの指導方法を学びます。

※ダブルリミテッドの子どもたちの特徴として以下のようなものがあります。

- ・日常会話は上手なのに勉強がわからない
- ・先生の話が集中して聞けない
- ・行動が他の子よりワントempo遅れる
- ・忘れ物が多い、宿題をしない
- ・「わかってるのにわからないふりをしている」と誤解される

講座1 生活の言葉と学習の言葉…畠山真一（尚絅大学）

ワークショップ…実際の教科書の語彙や表現を見てみよう

講座2 教科書や問題、読んでもわからないのはなぜ？

自分の力で読み取れるようになるための指導…竹村朋子（当 NPO）

第3回 12/9

漢字指導、その他の指導の実例共有

特に非漢字圏から来た子どもたちには漢字習得は高いハードルです。
第3回では、非漢字圏から来た子どもへの漢字指導の方法を学びます。

講座1 成り立ちから教える漢字指導…片山良子・川原彩代（当 NPO）
ワークショップ（漢字カードを使って）

講座2 いろいろな指導の実例発表
テーマ別グループ討議

◆申込先：一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団 担当：勝谷

〒860-0806 熊本県熊本市中央区花畑町4番18号 TEL:096-359-2121 FAX:096-359-5783

◆主催：NPO 法人外国から来た子ども支援ネットくまもと / 熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会

◆後援予定：熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会、尚絅大学、ユネスコ協会、熊本県国際協会、
熊本県就学前人権・同和教育研究会、一般財団法人熊本市国際交流振興事業団、熊本県人権
教育研究協議会、秀岳館高校・中九州短期大学、部落解放同盟熊本県連合会、熊本県教職員組合、
八代地区人権同和教育研究協議会